

## 日本の野田首相が愛媛丸慰霊碑を訪問

2012年のAPECの首脳会議に出席するためハワイを訪れていた日本の野田首相が、11月12日にカカアコ・ウォーターフロント・パークにある愛媛丸慰霊碑を訪れました。また日ごろ愛媛丸慰霊碑の清掃ボランティアを行っている福岡、福島、熊本、山口、沖縄の県人会の方々も同席しました。

まず、ハワイ日米協会、愛媛丸記念財団の双方の会長であるエド・ホーキンス氏が野田首相と同行した内閣官房副長官、外務副大臣、内閣総理大臣補佐官、在アメリカ合衆国特命全権大使の藤崎一郎氏、在ホノルル日本国総領事の加茂佳彦氏らに挨拶をしました。その後、愛媛丸事故当時の状況の説明と共に慰霊碑の敷地選択・慰霊碑建立の経緯を説明し、同時にこの悲劇的な出来事をきっかけとしてハワイと愛媛を結び親善を図る為の様々なプログラムがとり行われていることも説明しました。その後、野田首相とその一行は慰霊碑に向かって黙とうをささげ、献花をしました。また野田首相は、ホーキンス氏から紹介された各県人会のボランティアの方々に、慰霊碑の管理と日米間の親善を図るための活動に対する感謝の言葉を述べました。

また、ホーキンス氏は慰霊碑のそばに植えられた3本のみかんの木が、事故の発生から10年に当たる今年の初頭に、遺族がカカアコ・パークに集い行った特別慰霊祭の際に植樹されたものであることを説明しました。今回の野田首相の訪問が、日本の首相としての初めての愛媛丸慰霊碑訪問となりました。